

2023年2月24日



報道関係者各位

こども防災協会

チームワークでペーロン船を前進させよう！

【うみとひかりのぼうけん】を開催しました。

2022年11月26日(土)~11月27日(日)【あしきた青少年の家】

「こども防災協会」は小学生と留学生ボランティアの方々と一緒に、11月26日~27日に"いざという時、生きのびる(72時間)こどもを増やすこと"・"さまざまな国の文化や習慣に触れ、共生の感覚を持つこどもを育てること"を目的として、「うみとひかりのぼうけん」を開催いたしました。

このイベントは、次世代へ豊かで美しい海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環で実施しています。



## イベント概要

イベント名: ネイチャーぼうけん&防災キャンプ【うみとひかりのぼうけん】

日程: 2022年11月26日(土)~27日(日)

場所: あしきた青少年の家

参加人数: 合計56名

参加者内訳: こども38名(小学生、内被災経験8名) / ボランティア11名 / スタッフ4名 / バス運転手3名

ボランティア出身国:全7カ国(ルイジアナ・カザフスタン・フィリピン・モンゴル・ミャンマー・ネパール・トンガ)

## ペーロン船にのろう&ひかりのレスキューゲーム

大きなペーロン船を動かす方法と、海上から遠くにいるレスキュー隊に気づいてもらう方法を学びました。15~16名ずつに分かれ、3艇で出発。各船に乗った指導員が、漕ぎ方と進み方のコツをレクチャーしてくれます。ペーロン船には2列に並んで座るので、左右のペアが同じ力で漕がないと想定通りに進みません。チーム一丸となって漕ぎ、大きな船が前進した時には、とても嬉しそうな子どもたちの様子が見られました。その後、遠くにいるレスキュー隊に気づいてもらう方法を実践。船の上で鏡を使って太陽光を反射させる練習をしました。どの向きなら届くかを色々試すうちに「光って遠くまでいくなだね」と、光の届く距離と速さを体感したようです。



## ひかりのたんてい&キラキラ・ナイト

ペットボトルとカラーセロハンを使いスタンドグラスを作ります。真っ暗な部屋で、水を入れたペットボトルに光をあてる実験も行いました。光が水に反射することで、懐中電灯1つでも周りがパッと明るくなります。「わあーきれいー！」と驚きの声が上がっていました。

また、ワークシートを使って、光についての学習も。「なぜレスキュー隊に知らせるとき、音ではなく光を使うのか?」「なぜ浅瀬と沖では海の色が違って見えるのか」など、今回の体験をもとに、さらに理解を深めました。



## 参加した子ども・保護者からの声

「いつも使っている鏡が、レスキュー隊を呼ぶのに役立つと思ってなかったので、すごいと思いました」「セロハンを貼って、色々な色の光や模様が作れて楽しかったです。暗くするとよく見えました。」

## <団体概要>

団体名称 : こども防災協会

URL : <http://kodomo-bousai.net/>

活動内容 : 防災に役立つ判断力と行動力を学べる「こども防災キャンプ」を実施しています。キャンプには、留学生ボランティアも多数参加。さまざまな国の文化や習慣に触れながら、災害に関わる英語も一緒に学ぶことができます。



### 日本財団「海と日本プロジェクト」

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>

### <お問い合わせ先>

団体名 : こども防災協会

担当者名 : 鹿島 美織

電話 : 090-6684-9696

メールアドレス : [volunteer@kodomo-bousai.net](mailto:volunteer@kodomo-bousai.net)